平成２４年度事業報告

第 35 期（平成 24 年４月１日から平成 25 年３月 31 日まで）

Ⅰ　事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を実施した。

１　文化財等保護活用事業

（１）　自然保護事業

・真庭市蒜山地域タンチョウ飼育施設設置等支援

真庭市蒜山地域にタンチョウ飼育施設を設置するに当たり、その適地を選定する真庭市タンチョウ飼育施設適地選定委員会への参加、施設設計助言、飼育員の育成等を行った。なお、同施設（蒜山タンチョウの里：真庭市蒜山上福田 1205-74、３月 21 日オープン）について引き続き運営支援を行うこととしている。

・（公社）日本ナショナル・トラスト協会との連携

当財団の備中うるし復興事業等の情報提供を行うとともに、全国のトラスト活動について情報収集を行った。

（２）　伝統的工芸品復活・普及支援

備中漆の復活に取り組んできた（社）林原共済会を支援するため、当財団が平成６年から行っている真庭市（旧川上村）及び新見市の市有地（山林、計約 7.6ha）の無償借用を継続するとともに、林原共済会が植栽した漆の木の寄附を受領した。また、（株）林原の破綻を受け、新たに岡山県や両市等と結成した備中うるし利活用協議会の事務局を受け持つとともに、応分の経費を負担して支援に努めた。さらに、６月 15 日から“備中漆を守ろう！”募金を行い、寄せられた 2,606,000 円を備中漆の復興事業に有効に活用した。

（３）　文化財の保護

平成 22 年度に整備した池田光政公御涼所跡の「甘棠碑（かんとうのひ）と遺愛棋碑（いあいのうめのひ）」及びウメ

（花香実）の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。

（４）　文化財庭園「後楽園」の活用と伝統の維持、普及

・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

岡山後楽園能舞台　10 月６日（土）

番　組　　能　　「熊野（ゆや）」、「鵺（ぬえ）」

出演者　観世流　山崎　芙沙子、山崎　浩之ほか

狂言　「口真似」

出演者　大蔵流　茂山 茂ほか

解　説　　京都府立大学教授　山崎　福之

・茶つみ祭（５月 20 日（日））　、お田植え祭（６月 10 日（日））、観蓮節（７月１日（日））、名月鑑賞会（９月 30 日（日））などの伝統的な行事を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努めた。

（５）　後楽園専任ボランティア「後楽塾」８期生の育成

後楽園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動する「後楽塾」８期生を育成し、広く文化財庭園「後楽園」の魅力を発信した。

・募集　平成 24 年２月 27 日（月）～３月 31 日（土）

・塾生　１３人

内訳　一般コース　１０人（男性４人・女性６人）

外国語コース　３人（男性２人・女性１人）英語２人、中国語１人

・入塾式　５月 16 日（水）

・８期生の塾生としての活動期間は平成 24 年９月から平成 26 年８月 31 日までの２年間

（６）　岡山後楽園「延養亭」の特別公開

岡山県と共催で一般を対象に特別公開を実施

延養亭の室内と、延養亭に隣接する茶室「臨漪軒（りんいけん）」（非公開）の解説を交えての見学会

10 月 22 日（月）～28 日（日）　１日２回、各回定員１５人

延べ参加者　２１０人

（７）　「大名庭園　武家の美意識ここにあり」への執筆

平凡社（東京都千代田区神田）が「別冊太陽　日本のこころ 204」として２月 25 日

発行した「大名庭園　武家の美意識ここにあり」に「岡山後楽園」について万城主任研究員が執筆し、全国にアピールした。

（８）　先賢の顕彰

１）　郷土ゆかりの先賢顕彰

・財団が多くの資料を収集している内田百閒についてテレビ、ラジオ番組等で紹介

・宮城道雄生誕 120 年記念講演と演奏の会

「内田百閒と宮城道雄～自然を手本に～」の協賛

岡山市立市民文化ホール　３月 10 日(日)

参加者５００人

講演の部　「内田百閒について」　万城主任研究員

「宮城道雄の随筆」　千葉宮城道雄記念館資料室室長

演奏の部　さくら変奏曲、唐砧、比良、落葉の踊り、中空砧、水の変態

宮城合奏団有志、箏曲宮城会中国支部有志他

・犬養木堂記念館所蔵木堂書や５･15 事件の新聞号外などを岡山県立博物館で開催された特別展「昭和モノ語り ―人々のくらしと岡山― 」（８月３日（金）～９月 17 日（月））に出品

・犬養木堂記念館所蔵の木堂書や愛用の硯、犬養内閣組閣記念のぐいのみを憲政記念館（東京）で開催された特別展「昭和、その動乱の時代―議会政治の危機から再生へ― 」（11 月８日（木）～11 月 30 日（金））に出品

２）　日中国交正常化 40 周年記念イベントの開催

日中国交正常化 40 周年を記念して、記念館による顕彰事業や日中交流などその足跡を振り返った。

・場　所　岡崎嘉平太記念館ほか

・時　期　９月～２月

３）　「秋の企画展関連イベント　和文化を楽しむ会」の開催

犬養木堂生家及び木堂塾においてボランティアの協力を得て「和文化を楽しむ会」を開催し、「犬養木堂」の事績と記念館、生家の魅力発信に努めた。

・開催日　10 月 27 日（土）

４）　「内田百閒」の顕彰

ア　宮城道雄生誕１２０年記念講演と演奏の会（再掲）

イ　内田百閒記念碑園（岡山市中区旭川河川広場）の維持管理を行うとともに、園内整備を行い、八重桜（フゲンゾウ、カンザン、キクザクラ各１本）を植栽した。また、近接する三光荘内の「内田百閒コーナー」に財団所蔵の百閒ゆかりの品を展示（３回展示替）した。

２　普及啓発事業

（１）　郷土文化講座等の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、岡山の自然・文化・歴史に関する講座を開催した。

１）　岡山県立図書館会場

ア　１月 29 日（火）

「岡山の木工芸　知られざる名工と現代の匠たち」

講　師　　福冨　幸（岡山県立美術館主任学芸員）

参加者６９人（うち会員５９人）

イ　２月５日（火）

「津山の城と城下町」

講　師　　尾島　治（津山郷土博物館館長）

参加者１０８人（うち会員８４人）

ウ　２月 14 日（火）

「池田動物園の開園 60 周年を迎えて」

講　師　　忠政　智登士（池田動物園副園長）

参加者５８人（うち会員３８人）

エ　３月５日（火）

「大原孫三郎に応えた郷土の建築家　薬師寺主計」

講　師　　上田　恭嗣（ノートルダム清心女子大学教授）

参加者７４人（うち会員４９人）

２）　木堂祭、犬養木堂記念館講演会の開催

・木堂祭記念講話（5 月 15 日）

演題：「犬養木堂の政治外交観」

講師：時任　英人（倉敷芸術科学大学教授）

３）　岡崎嘉平太記念館講演会の開催

・日中国交正常化 40 周年記念

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第十一回講演会

日時　11 月３日（土）13 時 30 分～16 時

場所　吉備高原リゾートホテル多目的ホール

演題：「岡崎嘉平太と中国」

講師：服部　龍二（中央大学教授）

演題：「岡崎先生との思い出　これからの日中友好」

講師：劉　智剛（元中国駐大阪総領事）

４）　第二回おかやま文化フォーラム「見えてきた古代吉備の実像」の開催

主催　岡山県、郷土文化財団、おかやま県文祭実行委員会

日時　11 月 12 日（土）

場所　県立大学　講堂

基調講演

鈴木　靖民（横浜市歴史博物館館長、國學院大学名誉教授）

パネルディスカッション

神崎　宣武（おかやま夢づくり顧問）

鈴木　靖民

平井　典子（総社市教育委員会文化課課長補佐）

岩﨑　充宏（山陽新聞社編集局文化部副部長）

参加者　４５０人

（２）　広報誌「きび野」の発行

年４回発行　Ａ５判　約１６ページ　4,500 部/回

（３）　財団ﾆｭｰｽ「お知らせ」の発行　3,000 部/回

会員に財団事業の案内等、随時発行・インターネット公開

（４）　会員証のデザイン改定

公益財団法人移行を記念するとともに会員加入の推進を図るため昭和 54 年設立以来の会員証に加え、見ているだけで「うるおい」と「やすらぎ」を感じるような新デザイン４種の会員証を、12 月３日から発行した。

デザイン　櫻井友美（日本美術院所属／雅号：角野友美、岡崎嘉平太記念館勤務）

協力：鉦谷沙織（デザイナー）

（５）　現地研修会の開催

郷土ゆかりの自然や文化財等を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

１）　自然と文化を訪ねるバスの旅

ア　「源平合戦のロマンを辿るコース」

・岡山市中区、倉敷市、井原市　４月 26 日（木）

説明　鷹取敏明、山本敦（吉備の中山を守る会）

北村精三(藤戸寺周辺に詳しい郷土史家)

首藤ゆきえ（井原市文化財センター古代まほろば館研究員）

中新　勲　（永祥寺（井原市西江原町）の檀家）

永祥寺（那須与一が屋島の合戦の功績として与えられた荏原荘に、那須氏が地頭として来地後、菩提寺として開基したといわれている。境内には、与一が屋島の合戦で弓を引く際に破り捨てた片袖を祀ったという袖神稲荷がある。また、寺の北東の山中には与一を供養する五輪塔がある。）

参加者５０人（うち会員４６人）

イ　「姫路城「天空の白鷺」を訪ねるコース」

・姫路市　６月 22 日（金）

姫路城、姫路文学館

説明　地元ボランティアガイド

参加者１２１人（うち会員１０５人）

ウ　「古代吉備（備中）をめぐるコース」

・総社市、笠岡市　10 月 30 日（火）

鬼ノ城、作山古墳

解説　平井　典子（総社市教育委員会文化財課課長補佐）

長福寺裏山古墳群、笠岡市立郷土資料館

解説　安東　康宏(笠岡市教育委員会主任学芸員)

参加者５８人（うち会員４９人）

エ　「上寺山餘慶寺（ご本尊ご開帳大法要）を訪ねるコース」

・瀬戸内市　11 月 19 日（月）

解説　土井　通弘（就実大学教授）

参加者７４人（うち会員６６人）

２）　美術等鑑賞会

ア　岡山県立美術館

・特別陳列「岡山の木工芸　知られざる名工と現代の匠たち」

６月 15 日（金）

講　師　福冨　　幸（県立美術館学芸員）

参加者　１９人（うち会員１６人）

イ　岡山県立博物館

・特別展「邪馬台国の時代　－吉野ヶ里から唐古・鍵、纒向までー」

九州の吉野ヶ里や伊都国・奴国などの遺跡、大和の唐古・鍵や纒向遺跡など邪馬台国に関わる遺跡や資料を紹介するとともに、当時の吉備の人々の生活や文化を取り上げ、邪馬台国とのかかわりなどを紹介。

11 月７日（水）

講　師　和田　　剛（県立博物館学芸員）

参加者　５６人（うち会員３８人）

・岡山・高知文化交流事業「坂本龍馬と幕末の土佐」

明治維新に大きな影響を与えた坂本龍馬と幕末の土佐について取り上げ、龍馬と関連のある岡山藩士についても紹介。

１月 22 日（火）

講　師　竹原　伸之（県立博物館学芸課主幹）

参加者４９人（うち会員３８人）

ウ　林原美術館

・企画展「池田家の明治維新」

幕末の動乱期の岡山藩三代にまつわる所要の品々や新政府から与えられた「錦の御旗」などから明治維新期の岡山藩を振り返る。

１月 22 日（火）

講　師　浅利　尚民（林原美術館主任学芸員）

参加者４９人（うち会員３８人）

（６）　印刷物等の作成

財団で収集した資料や開催した講演記録等を編集して配布した。

１）　「岡山の自然と文化」の印刷配布

平成２３年度郷土文化講座の講義録 No.32 を編集、配布した。

４，０００部（３月）

２）　「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第十一回講演会講演集」

３００部（３月）

３）　平成２～７年に制作したビデオ、岡山県自然・文化財シリーズ

「加茂大祭」（吉備中央町）、「吉川八幡宮当番祭」（吉備中央町）、「布施神社お田植祭」（鏡野町）、「備中町渡り拍子」（高梁市）、「阿波八幡神社花祭り」（津山市）の５本の改訂及び DVD 化をした。

各５００枚（３月）

（７）　「文化財団の歩み」の編集

引き続き財団発足以来の歴史を編集した。

（８）　インターネットのホームページ更新

財団事業の普及を図るため、適時更新を行いホームページの充実を図った。

（９）　内田百閒及び生田安宅（医学者）資料の整理保存

御遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を整理保存した。

(10)　財団収集資料の公開

引き続き、収集資料の寄託による公開等を行った。

１）　植物関係図書・文献の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料（書籍約 5,300 冊、雑誌約 7,000 冊）を県立図書館に寄託

・植物標本（約 3,300 点）を岡山県自然保護センターに寄託

２）　郷原漆器資料の公開

財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器（約 60 種類、約 700 点）を岡山県立博物館に寄託

３）　郷土画家の秀作の公開

財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作（６人、10 点）を岡山県立美術館に寄託

(11)　資料収集・調査研究

文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、その成果の活用に努める。

・内田百閒関係資料（奥野菊美（三女）ゆかりの品）
内田ミネ氏（孫）から寄贈

・岡崎嘉平太関係資料　長野洋子氏等から寄贈

・犬養木堂関係資料　前田岩繁等から寄贈

３　地域文化振興事業

（１）　演奏会等の開催

・「音楽の力で支えあい」（岡山県立大学鬼ノ城カレッジ）

日時　12 月 16 日(日)　14 時～16 時

会場　岡山県立大学講堂

内容　岡山交響楽団等によるベートーベンの生涯と音楽から人生を乗り越える力を学ぶレクチャー付きコンサート

共催　岡山県立大学保健福祉推進センター

（２）　伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財（民俗技術）に指定された郷原漆器展示即売会　郷原漆器約 300 点を一堂に展示即売の「おしらせ」等による広報面での支援を行った、

期間　12 月 16 日～18 日

場所　晴れの国おかやま館（岡山市北区表町）

期間　１月 18 日～24 日

場所　倉敷天満屋４階美術画廊

（３）　各種団体との共催事業等

１）　第２７回「下津井節全国大会」の共催

９月 24 日（土）・25 日（日）

場　所　倉敷市児島文化センター

主　催　下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

２）　第１０回おかやま県民文化祭特別事業「岡山芸術回廊」開催事業の共催

11 月３日（土）～12 月２日（日）

場　所　岡山後楽園、岡山城ほか岡山カルチャーゾーン一帯（岡山市）

主　催　おかやま県民文化祭実行委員会、岡山県

総事業数　１３２事業　来場者総数１２０，８３９人

３）　特別陳列「岡山の木工芸　知られざる名工と現代の匠たち」の開催に係る実行委員会への参加

会　期　平成 24 年５月 22 日（火）～７月１日（日）

場　所　岡山県立美術館

４）　平成２４年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

１月 18 日（土）～８月 18 日（日）

場　所　岡山県自然保護センター（和気町）等

主　催　岡山県自然保護センター、公益財団法人岡山県環境保全事業団

５）　宮城道雄生誕 120 年記念講演と演奏の会（再掲）

「内田百閒と宮城道雄～自然を手本に～」の協賛

３月 10 日(日)

場　所　岡山市立市民文化ホール

主　催　箏曲宮城会

６）　後援

特別展「マルク・シャガール　愛をめぐる追想」ほか５２事業

（４）　郷土文化財団会員作品展の開催

県内各地で様々な文化的創作活動が促進されるよう、財団会員により制作された絵画や写真等の作品を紹介する展覧会を開催した。

・天神山プラザ

会　期　５月 22 日（火）～27 日（日）

出　品　１４５点　（絵　画　１０１点、写　真　４３点、その他　１点　）

入場者　１，０６２人

（５）　苗木配布事業

古くから親しまれてきたサクラ・ウメの苗木を市を通じて地元コミュニティに交付した。

・美作市（美作市古町）

ソメイヨシノ　１００本

・津山市（津山市神代梅の里）

鹿児島紅梅　３０本　八重紅梅　２０本　大盃　２０本

しだれ梅　３０本　計１００本

・浅口市（浅口市藤波池キャンプ場）

ソメイヨシノ　１００本

４　受託事業

（１）　後楽園の管理運営

「後楽園」の管理を県から受託し、実施した。

（２）　自然保護センターにおけるタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護、入園者に対するガイド・指導等

（公財）岡山県環境保全事業団から受託し、実施した。また、真庭市でのタンチョウ飼育施設建設（３月オープン）を支援した。

（３）　犬養木堂記念館、生家の管理運営

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館、生家の管理運営及び資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

１）　第１８回犬養木堂顕彰児童生徒書道展

４月４日（水）～５月６日（日）

特別賞　２５点、入賞　４１２点、入選　３９９点

２）　没後８０年記念 特別展　「犬養木堂の遺墨」

５月 15 日（火）～７月２日（月）

展示品　地元に残る木堂の書軸等

３）　一品展２１　８月１日（水）～８月 27 日（月）

展示品　木堂が漢詩をしたためた後、間違いに気づいて訂正した大正期の書軸「渓雲靄々樹団々」

４）　秋の企画展「犬養木堂と亜細亜」

10 月 13 日（土）～12 月９日（日）

展示品　木堂宛書簡、布引丸事件秘録、木堂書簡、木堂写真ほか

５）　秋の企画展関連イベント　「和文化を楽しむ会」

日時　10 月 27 日（土）　　10 時～15 時

会場　犬養木堂記念館内　木堂生家　木堂塾

協力　一絃琴一藤会・後楽園遊扇会

６）　常設展　新春特別陳列　「木堂の巳年」

１月５日（土）～１月 21 日（月）

展示品　木堂の年賀状や干支である巳年の資料など

７）　一品展２２　１月 30 日（水）～２月 25 日（月）

展示品　木堂が倉敷町長をしていた植田年へ宛てて大正３年に書いた書軸「花謝花開」と関連資料

８）　第１９回犬養木堂顕彰児童生徒書道展 作品募集、審査表彰

３月２日（土）　表彰式

（４）　岡崎嘉平太記念館の管理運営及び資料収集整理並びに企画展

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館の管理運営、資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

１）　第６回「嘉平太が愛したふるさと岡山 心なごむ風景 写真展」

・岡崎嘉平太記念館会場

５月 18 日(金)～７月１日(日)

・天満屋地下タウン アートスペース会場

７月４日(水)～７月９日(月)

２）　秋の特別企画展　日中国交正常化４０周年記念

「日中国交正常化の立役者　岡崎嘉平太」展

９月 22 日(金) ～12 月 27 日（日）

遺品展示、パネル等により記念館の１０年間の主な活動を紹介

３）　日中国交正常化４０周年記念「日中友好ふれあい座談会＆コンサート」

12 月 16 日(日)

・場所：吉備高原都市きびプラザ　第一会議室

・座談会テーマ：今後の日中友好について考える

参加者：吉備中央町から周恩来総理の生誕地淮安市へホームステイをした若者等

・コンサート：クラシックギター（平田卓也）による演奏

４）　日中国交正常化４０周年記念　東京中国文化センター所有写真による「日中国交正常化４０周年のあゆみ」写真展

１月 16 日(水）～２月４日（月）

日中友好の４０年の歴史を年表や東京中国文化センターが所有している写真等により紹介

５）　第５回「嘉平太が愛したふる里 こども作品展」

３月１日(金）～３月 11 日（月）

６）　「岡崎嘉平太記念館だより」の発行（７月・１月）

（５）　第十一回　岡山県「内田百閒文学賞」の審査・表彰

文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、今年度は作品審査・表彰業務等の企画・運営を行った。

最終審査　12 月４日（火）

・応募作品３４０編（うち一次、二次審査通過作品１２編）

表彰式　３月 19 日（火）　岡山県立美術館ホール

・最優秀賞　平野の鳥

岩朝 清美（いわさ きよみ）　京都府在住

・優秀賞　セピア色のインク

木下 訓成(きのした くにしげ）　広島市在住

・優秀賞　伯備線の女―断腸亭異聞

三ツ木 茂(みつき しげる）　岡山市在住